



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1153

20.04.2025 (136)

悪の天才の教育

ゲルハルト・ラウク 著

第19回

メディア抜粋

「ドイツと西ヨーロッパにおけるファシズム体制の再創造を目指す NSDAP/AOの地下活動は、西ヨーロッパの国家保安警察との闘いにおいて、その厳格な陰謀的活動からその有効性を引き出している。その名が示すように、若い国家社会主義者たちは、NSDAP禁止令の解除と、扇動的で反マイノリティであり、人種憎悪を助長する彼らの方法論、イデオロギー、政治の合法化のために戦っている。

"細胞システムを通じて広範な戦線を扇動するこの組織に関するさらに厳密な機密資料は、主に若いメンバーが、難民の家の焼き討ち、左翼政党／組織の事務所や外国人に対する攻撃、不法侵入などの不法行為を行うテロリストと戦っていることを確信させる。

「NSDAP/AOが与えた損害の大きさを推し量るのは難しい。それが相当なものであることは、若い活動家に対する比較的重い実刑判決（もし警察が彼らを捕まえることができたなら-めったに起こらないが-）や、西ヨーロッパに溢れ、アメリカから指示されているプロパガンダ資料やNSレガリアの膨大な流通によって証明されている。

「NSDAP/AOの活動家で死亡または自殺した者の長いリストは、これらの国家社会主義の大義のための闘士が、最も硬化した狂信的なヒトラー信者であることを示す最も確かな尺度である。 - ゲオルク・クリスチャン 著『死者の祭典』（249ページ）

「今年初めのドイツのネオナチに関する特別報告の中で、ADLはラウクをこの運動の最も危険な宣伝者として取り上げた。 - ロサンゼルス・タイムズ 1993年9月7日

「ドイツにおけるネオ・ナチズム問題の高まり、アメリカにおける散発的な暴力事件、そしてラウクの最近の他国における新たなヘイト市場への進出は、過激派活動を監視する機関に警鐘を鳴らした...。

"ドイツ憲法保護局（Office for the Protection of the Constitution）によれば、ラウクはドイツのナチス地下組織にプロパガンダを提供するトップ・サプライヤーである。

「この1年、ヘルムート・コール首相は、資料の印刷と輸出のどちらかを止めることがいかに重要であるかをアメリカ人に説得するために何度も試みた。

「ラウクの人脈は ミッドランズからヨーロッパ、南北アメリカに広がっている。彼は白人の多い国の急進右派の人種差別主義者たちに宣伝、激励、指示、場合によっては資金を供給している...」。

「彼を自国から締め出そうと、ドイツ当局はかつてラウクを4カ月間投獄した。ドイツ当局は彼を国外に追い出そうと、かつて4カ月間投獄したことがある。しかし、彼の関与を封じ込めたわけではない。ベルリンの壁が崩壊して以来、彼らの問題、そしてラウクのドイツでのネットワークは拡大している。

「さらに、ラウクはこの2年間で30カ国以上に進出している。彼の組織は、英語、ドイツ語、スウェーデン語、デンマーク語、ハンガリー語、オランダ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語でタブロイド判の季刊誌を発行している。また、彼はロシアに米ドルとドイツ・マルクを送り、そこで印刷されるロシア語の新聞に資金を提供している。

「この1年、ラウクはアメリカでの活動も強化している。彼はアメリカの15都市の公共アクセスチャンネルで2つの “ホワイต์・パワー” テレビ番組をスポンサーしている。

ユダヤ人名誉毀損防止同盟（B'nai B'rith）は、ラウクのキャリアを監視してきたが、ラウクは“世界クラスの人種差別主義者”であり、その拡大は国際的な懸念の原因となっている。

「彼は憎悪の世界で重要な要素をすべて持っている。すなわち、多数の人数、国際的な範囲に及ぶ十分な資金を持った活動、目標と戦術に関するかなり洗練された考え、そしてそれについて何かをする手段である。

「ウォルフソンは、ラウクはヨーロッパとスカンジナビアの新しい足場を利用して、国際的にナチズムを政治的選択肢として正当化し、ドイツに党を合法化するように圧力を強めると予測している。

このような人物を20年前よりもずっと重要な存在にしている出来事が重なっている」とウォルフソンは言う。

「1992年の200件以上の犯罪捜査で、ラックのプロパガンダは犯罪現場や容疑者宅の捜索で発見された。

「私たちは3日に1度、プロ仕様のタブロイド紙かテレビ番組を制作しています。

“彼の主張は、彼の敵である機関によって裏付けられている”- サンデー・ワールド・ヘラルド紙（オマハ）1993年9月26日号

ドイツのネオナチは、“農場ベルトの総統”として知られるアメリカ人に、警察をかわし、建物を爆破する方法を教えてもらっている、とナチス離反者のトップが語った。

「ネブラスカ州リンカーンの　アメリカ人ゲーリー・ラックは、ネオナチ・プロパガンダの世界最大の印刷業者として悪名高い。

「暴力との関連性を指摘されるのは）ドイツ政府によるキャンペーンの一環だと思う。彼らは我々を非合法化しようと何年も努力してきた。ドイツの民主主義の概念は、私たちとはあまりにも違う。

「実際、ドイツ政府関係者は、ラウクのプロパガンダの取り締まりを要求している。

「昨年末、ラックはボンでFBI長官のルイス・フリーとドイツ側との間で中心的な話題となった。

「ドイツ当局はフリーに、ラックの資料をドイツから持ち出さないよう協力を求めた。

「フリー氏は、もしラックが単なる政治的宣伝家でなかったことが証

明されれば、米国はもっと手を打てるかもしれない、とほのめかした。

「個人が単なる言論や表現の自由を超え、（ドイツにおける犯罪を）幫助し始めるには、かなり微妙な線引きがある。

元ネオナチのインゴ・ハッセルバッハによれば、ラウクはまさにそれを実行したという。最近のインタビューでハッセルバッハは、ラウクはドイツ右翼運動の中心人物となり、テロを呼びかけるだけでなく、必要な指示も出していると主張した。

「ドイツ当局がいくつかの右派政党を禁止し、その指導者たちを地下に潜らせた後、ラウクの影響力は大きくなった。

「かつてベルリン最大のスキンヘッド集団を率いていたハッセルバッハによれば、ラウクはドイツのネオナチに対して、政府の禁止令に対抗するためにテロ活動を行うよう促した。

彼は私に、（政治的变化を達成する）合法的な方法は失敗したので、ユダヤ人施設に対する攻撃.....そして2000年のオリンピックのための（ベルリン市政府の）売り込みについて考えるべきだという手紙を送ってきた」とハッセルバッハは語った。この手紙と一緒に、私はコンピュータのディスクを受け取った。

「ハッセルバッハによれば、ラウクは爆弾の作り方や、どこに置けば最大の効果が得られるかについての詳細な指示もグループに与えていたという。

「ラウクはハッセルバッハを大義に対する裏切り者であり、おそらくドイツ諜報機関の手先であろうと呼んだ。 - バッフアロー・ニュース』
1994年2月13日

当局にまったく邪魔されることなく、公然と、2カ月に1度、2万部以上の発禁新聞『NS-Kampfruf』を印刷し、ドイツに密輸している。鉤十字のステッカーを何百万枚も作っている。

「ドイツ憲法保護局の見解では、ラウクのNSDAPはドイツのナチシーンにファシスト出版物を提供する最も重要な業者である。ゲイリー・レックス・ラウク自身は、右翼過激派の地下文献の95%は彼からのものだと見積もっている。トンもの印刷物を帝国領内に送り込んでいる。リンカーンからのプロパガンダ資料は、1992年だけで72件の凶悪犯罪に関係している。"- 1994年3月4日付『Süddeutsche Zeitung』誌

「ドイツでは、（FBI長官の）フリーが、アメリカの白人至上主義グループからドイツのネオナチやスキンヘッドへのプロパガンダや資金、そしておそらくは準軍事的な援助の流れを止める方法について議論する。

「ドイツの司法当局筋によると、ナチスの禁制品を密輸してドイツの法律に違反しようとするアメリカ人に対して、共謀罪が適用されるかどうかについてもフリー氏は議論する予定だという。

「「フレアはこのことを今回の歴訪の主要テーマとするだろう」と米国高官は付け加えた。

“FBIはすでにドイツに捜査官を配置し、銀行強盗、組織犯罪、盗聴、世界中の右翼過激派グループを結ぶコンピューター・メールボックスの増加といった問題についての連絡にあたっている。” - シカゴ・トリビューン 1994年6月27日

“ドイツ連邦警察、ネブラスカ人ゲーリー・ラウクに対する処分を示唆...”

“ FBIは、ドイツ人からの手がかりをもとに、ある注目すべき事件を捜査していると発表した。

「しかし、ドイツ連邦刑事警察のハンス・ルートヴィヒ・ザッハートは記者会見で、（ネブラスカ州の）ゲーリー・ラウクは1980年代からドイツにプロパガンダを広めており、過激で過激な文章が書かれたリーフレットを配布している...と語った。

“ベルリンに向かう途中のインタビューで、FBIは米国から発送されるヘイト資料の送付先を合法的にドイツ警察に教えることができるかもしれない、とフレは語った。そうすれば、ドイツ警察による押収が容易になる”。 - リンカーン・スター紙 1994年6月29日

「しかし、米国在住のゲーリー・ラウクに対してドイツ当局ができることはほとんどない。フリッシュ（連邦憲法保護局副局長）は、ドイツのネオナチにプロパガンダを提供している最大の人物であると指摘している。

過激主義に関する展示会で、フリッシュはラウクのことでFBIと “集中的な話し合い” をしたと語った。

「彼ら（FBI）は、アメリカでは言論の自由は絶対的な権利であり、彼

に対して法的措置をとるチャンスはないと指摘している。

「唯一のチャンスはそれを阻止することだ。しかし、彼（ラオック）は封筒に返送先を書かないので、見つけるのは難しい。何通かは押収できるのですが、膨大な量が紛れ込んでしまうのです」とフリッシュは語った。 - リンカーン・スター紙 1995年2月21日

「1995年3月20日、ゲルハルト・ラウク逮捕 後のデンマーク新聞の見出し。

「名誉毀損防止連盟は、ラックを極右の最も危険な宣伝家と呼んでいる。 - ロサンゼルス・タイムズ 1995年7月25日

「ボンのアメリカ大使館職員によれば、アメリカ政府はまだラウクに対する証拠提供の協力を要請されていないという。我々はその争いに関与していない。デンマークとドイツが解決しなければならない。われわれの最初の関心は、彼がドイツで誰もが受けるのと同じような待遇を受け、彼の権利が完全に守られるようにすることだ』」。ワシントンポスト』 1995年8月25日

「しかし私たちは、たとえナチスであっても、ゲーリー・ラウクを含めて、誰であっても、自分の意見を言葉や文章で発表する権利をいつでも擁護したい。デンマークの最高裁判所が判決を下すまで、私たちは、この国の最高の法的権威が、私たちの憲法における言論の自由の擁護を最も崇高な任務とみなしてくれると信じていた。

「なんてナイーブなんだろう。この判決は、デンマークの最高裁が今日、憲法よりも政治的正しさや政治的服従を重視しているという事実を覆い隠すことを目的とした司法のスラロームだった。

「というのも、ゲーリー・ラウクが逮捕された時点で、外務大臣にとってドイツ側の身柄引き渡しの望みをかなえることが重要であることは明らかだったからである。

そして、高等法院が身柄引き渡しを正当化するために使用した、ラウクが何年もかけて書いたこの戯言の山から見つかった最悪のものは、「ユダヤ人は我々の不幸である。人種差別禁止法266bに照らしても、せいぜい罰金か数週間の懲役にしかないような文章である。それにもかかわら

ず、最高裁はこの男をドイツに引き渡し、おそらく数年の実刑判決を下した。”- *Morgenposten Fyens Stiftstidende*（デンマークの新聞）1995年8月27日付

「ドイツ統一後の社会的動乱の最初の2年間、彼はドイツに対する大規模なプロパガンダ攻撃を開始した。特に東部諸州で極右犯罪が爆発的に増加した。1991年から1992年にかけて、警察が押収したラウクの資料はほぼ3倍に増えた。NSDAP/AOの人種差別ステッカーが国中に貼られた。

「それにもかかわらず、ここ数年、ラウクの運動は会員数と資金援助が急増している。彼は現在、10ヶ国語でナチス新聞を発行している。

「連邦憲法保護局の専門家たちは、ラウクの資料がドイツに流入し続けていることを認めている。警察の専門家は、アメリカから毎日届く大量の合法的な郵便物のために、この密輸戦術に対抗することはほとんど不可能であることを確認している。

NSDAP/AOの資金源について研究しているアメリカのB'nai B'rithの名誉毀損防止連盟（Anti-Defamation League）の責任者であるアブラハム・フォックスマンは、「ラウクはかつてないほど多くの資金を持っている。フォックスマンはNSDAP/AOの資金源について研究している。

「多くの専門家が、ラウクと彼のプロパガンダ・ネットワークは深刻な脅威であると確信している。NSDAP/AOを20年間研究してきたある引退したジャーナリストは、右翼過激派の脅威について次のように語っている。- 1995年9月、『リーダーズ・ダイジェスト』誌英国版に掲載されたドイツのネオナチの悪の天才。

NS KAMPFRUFが現れ続けているという事実だけでも、3月の大規模な行動が大したものではなかったことがわかる」と警察関係者はコメントした。警察の専門家たちは、NSDAP/AOはネブラスカ州リンカーンを拠点に活動を続けており、ドイツのネオナチ・シーンのための宣伝資料をいまだに配布していると訴えている。- 1995年10月10日 オップエンバッハ・ポスト紙

「裁判は海外につながる。特にアメリカのNSDAP/AOは、ドイツ右派の秘密亡命政府とみなされており、憲法擁護局によれば、「世界最大のNS

プロパガンダ資料の製作・配布者」である。”-
*Süddeutsche Zeitung*紙

1996年1月13日付

“ネブラスカの指導者　ゲイリー・レックス・ラウクがハッセルバッハを訪れた。ラウクはおそらく世界で最も強力なナチであり、ナチという名前を使える唯一の実力者だ。アメリカでは合法だ。彼は地球上のあらゆる大規模なナチス組織を宣伝材料で支援し、数え切れないほどの数のテロリスト集団を調整している。(彼は現在ドイツで逮捕されており、ハッセルバッハが証言する人物の一人である)

「ハッセルバッハが発見したナチスの現場は、世界をまたにかけた巨大で強固なもので、安定した資金繰りと強い歴史的目的意識、そして余剰の武器と専門知識を有していた　。数年後、彼がすべてを警察に話しても、ほとんど信じてもらえなかった。彼の暴露による影響は、まだ何年も収まらないだろう」。- *スペクトラム*』1996年3月3日号（イギリス

サイモン・ヴィーゼンタール・センターは、彼を　“世界で最も危険なネオナチ・テロリストの一人”と位置づけている」。- 1996年3月8日 *ハンブルガー・モルゲンポスト*紙

「NS　KAMPFRUFの配布は、ラウクが逮捕されるずっと前から分散化されていた。ドイツ国内の非合法的なNSDAP/AOの構造はほとんど手つかずのままである。”- 1996年5月5日 *ダイターゲスツァイトウング*紙

「私は検事総長から証言を求められた。その手紙には、ラウクが『NSDAP/AOの指導者』と書かれていた。国は彼にこの称号を与えている！NSDAP/AOは公式に認められている。ドイツでは禁止されているにもかかわらず、組織として認められているのだ」。- 1996年5月8日付『*ターゲスツァイトウング*』紙のインタビューに答える元VS教官ペーター・シュルツ

「ドイツ政府報道官）ヴルフによれば、ラオックの組織とつながっているとされる5つのネブラスカ番号にドイツからかけられた大西洋横断電話の盗聴によって、ラオックに不利な証拠がいくつかまとまったという。

- ワシントン・ポスト』1996年5月9日

"ラウクは、世界最大のNSマテリアルの生産者の一人であり、国際的なネオナチ・シーンの重要人物とみなされている"- 1996年5月10日付

*Süddeutsche Zeitung*紙

"ドイツの捜査当局は、この裁判を、ラウク氏の活動を阻止するための20年にわたるキャンペーンのクライマックスとみなしている。

捜査当局によると、ラウク氏の出版物『NS Kampftruf』（国家社会主義者の戦いの叫び）は2ヶ月に1度、10カ国語で発行されている。約2万冊がドイツを中心に世界中の住所に郵送されている。

ゲーリー・ラウクは、ドイツにヘイトメールを送り込む主要な業者です」と、ネオナチグループを監視しているロサンゼルス・サイモン・ウィーゼンタール・センターのラビ、エイブラハム・クーパーは言う。ゲーリー・ラウクはドイツへのヘイトメールの主な提供者である」と、ネオナチグループを監視しているロサンゼルス・サイモン・ウィーゼンタール・センターのラビ、エイブラハム・クーパーは語った。- ニューヨーク・タイムズ1996年5月10日

"検察官によれば、押収された親ナチ資料の大部分はアメリカからもたらされたもので、ラックが主要な販売元であったとのことである。"-

1996年8月20日付 オマハ・ワールド・ワールド紙

「ゲルハルト・ラウクの逮捕 後に発行され、連帯の証として彼の獄舎に郵送されたものである。ラウクはこれらの押収の確認書を受け取り、それゆえにNSDAP/AOの絶え間ない活動を証明した。- 1996年8月21日付
ダイターゲスツァイトゥング紙

「ドイツの検察当局によれば、ラウクは20年来ドイツにネオナチの文獻、腕章、旗、ポスター、ビデオを供給している。- 1996年8月23日、
ニュース・ヘラルド紙

「43歳のラックは、ネブラスカ州リンカーンでネオナチ出版帝国を築き、合衆国憲法によって訴追を免れていた。- インディペンデント紙（イ

ギリス) 1996年8月23日

"しかし、ドイツ連邦捜査当局は、禁止されたパンフレット、横断幕、書籍、ステッカーをドイツのネオナチ運動に持ち込んだ密輸作戦の首謀者として、ラウク氏を長年非難してきた。"

「1989年のベルリンの壁崩壊後、ドイツでナチス・イデオロギーが復活する原動力の一人であったと ドイツ当局は見ている。

ラウク氏の新聞『NS Kampftruf』（国家社会主義者の戦いの叫び）は、推定1万人のドイツ人に読まれていた、と検察は述べて いる。

回顧録『Fuehrer-Ex』の中で、ハッセルバッハ氏はラウク氏について、「彼はベルリンからサンパウロまで、壁や窓に貼られたネオナチ・プロパガンダの実質的な源だった」と語っている。

「ラウクは、20年以上にわたって磨き上げられた、よく訓練されたプロパガンダ・マシンを所有していた。彼はプロパガンダの大砲を設置し、ドイツに向けて発射した。

「裁判所は、裁判に持ち込まれる資料を大幅に制限した。ラウクが20年もの間、謀略的な手段でドイツに密輸していた何トンものプロパガンダのほとんどは、時効にかかっていた。

"それにもかかわらず、ラウクはNSの専門家たちから、現在世界で最も重要なネオナチと評価されている"- 1996年8月23日付*Süddeutsche Zeitung* 紙

「仮にこのアメリカ人が5年の刑期を得たとしても、彼の扇動性、犯罪的エネルギー、ネオナチの国際的ネットワークにおける役割を考慮すれば、このような人物が受けるに値するほどの刑期ではなかっただろう」。デア・ターゲシュピーゲル』1996年8月23日号

「ドイツの司法当局に反抗的な言葉を吐きながら、アメリカのネオナチ指導者ゲリー・ラウクは昨日ハンブルクの法廷を行進し、人種差別的プロパガンダを輸出した罪で4年の実刑判決を受けた。国家社会主義者も共産主義者も、アメリカ市民を誘拐する勇氣はなかった」。- 1996年8月

23日、インディペンデント紙（ロンドン

「判決は非常に疑わしい法的根拠に基づいている。被告人が有罪判決を受けたのは、彼が何をしたからではなく、NS Kampfrufを通じて何を言ったかに対してだけである。もしラウクが鉤十字の代わりに槌と鎌を輸入したことで罰せられたとしたら、彼の現在の批判者は検閲に文句を言うだろう。」- 1996年8月23日付ダイターゲスツァイトゥング紙

「彼の身柄引き渡し、裁判、有罪判決はすべて、国際的な法的先例になると見られている。政治的資料やポルノに関する自由な法律を持つデンマークでの彼の逮捕は、ドイツからの強い圧力と、人種扇動に関するデンマークの法律を破っているという訴えを受けたに過ぎない。ラックは裁判の間ほとんど沈黙を守っていたが、彼の弁護士ハンス・オットー・ジークは、アメリカで出版したものをドイツで裁くことはできないと主張した。-1996年8月23日『タイムズ』紙（イギリス

「この分野でリベラルな法律を持つデンマークが、ネオナチの身柄を引き渡したのは初めてのことだった。- ベルリン・ツァイトゥング』1996年8月23日号

「ネブ州オマハでは、名誉毀損防止連盟の地域ディレクターが、評決には満足しているが、今後を懸念していると述べた。

「特に彼の影響力が最も強いヨーロッパでは。彼に戦いの傷跡を与えることになる。ドイツの刑務所への訪問が彼の抑止力になるとは思っていない。

「どう考えるべきか-ドイツ法学は発生した場所で犯罪でないものを管轄するのか」- フランクフルター・アルゲマイナー・ツァイトゥング1996年8月24日号

「あらゆる政党の政治家が判決を歓迎した。マンフレート・カンター内相は、「国際的なネオ・ナチズムの首謀者の一人であり、悪質な人種差別出版物の最大の販売者である人物に有罪判決が下されたことは、ドイツの司法による『適切な対応』である」と述べた。- 1996年8月30日付ユダ

38の訴因のうち、たった6つの訴因にしか基づいていないのだから.....」。

"証人は不要と判断された。検察はドイツ国内のNSDAP/AOの構造を暴くつもりはなかった。その代わりに、メディア効果を最大限に生かして有罪にするために、ラウクは単独犯として、そして最も危険なネオナチとして仕立て上げられた。

「国家の計算が完全に働いた。ラウクは、世界的に唯一危険で組織化されたネオナチとして有罪判決を受けた。それは国内外でのイメージアップになり、NSDAP/AOに対する行動は余計なことであるかのように思われた。裁判の間、誰も、どういうわけか...『NS Kampftruf』が配布されていることに気づけなかったようだ」。 - 1996年9月5日付『反ファシズム・ナハリヒテン』紙

連邦共和国において、彼はNS資材の最大の供給者であり、20年以上にわたる彼の安定した資材の供給は、1970年代以降に台頭してきた戦闘的な若いNS世代に継続性をもたらした...」。

NSDAP/AOは厳密な組織構造を持っていないため、当局が把握するのは難しい...」。

「その間、リンカーンの仲間たちが彼のために仕事を処理する。連邦共和国が20年以上にわたって寛容であったおかげで、ドイツのネオナチ・シーンは新たな供給路線を開拓するのに十分な力を持っている。

"ここで現場を痛めつけるのは、犯罪組織設立の罪で追加起訴されることだろう"- 反ファシズム情報誌1996年9月-10月号

「ネブラスカ州の出版社が4年の実刑判決を受けた。

「この判決は、アメリカにおける憲法上の重大な問題を提起した。例えば、アメリカ人の権利が外国の法律によって上書きされるとき、アメリカ政府はどこにいるのか？なぜデンマーク人はアメリカ市民を誘拐することを許されたのか？なぜドイツ人は彼を拘束することを許されたのか？

「ジーク氏は、ドイツには米国市民が米国で何をすべきかを指示する権利はなく、また米国で行われた行為がドイツでは犯罪となるため、裁判

は違法であると主張した。しかし、米 국무省はラックの弁護を拒否している。"- スポットライト』1996年9月23日

「ヨーロッパの6カ所の刑務所に4年以上収監されていたゲーリー・ラウクは、国家社会主義党を世界政治の最前線に押し上げようと、これまで以上に決意を固めている。

どちらかといえば、以前よりも決心が固まり、狂信的になっている」とラックは語った。

「木曜日の朝、リンカーンでのインタビューでラウクは、ドイツ政府はアメリカと国際法の両方を破り、アメリカの主権と憲法を侵害したと語った。

「これは私や私の政治的見解の問題ではない。これは、外国が管轄権を主張することなく、またワシントンのろくでなしどもがそれを許すことなく、言論の自由を実践するすべてのアメリカ市民の権利に関するものだ。我々（NSDAP/AO）は、国内外で私の誘拐犯に対する大規模な法的措置を準備している。

「ラウクは敵への挑戦を決して止めないと言った。

「もし私が死んで、聖ペテロに天国に行きたいか、戻って戦いたいかと聞かれたら、私は戻って戦いたい。


NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION
Nummer 104 Gegründet 1973 26. April 2017 (124)

Der Kampf geht weiter !

Seitdem Hitler nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung endlich als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!
Menschen von Völkern, Nationen, Vorfahren, Vorfahren haben nicht umsonst, das Leben der ganzen Welt um unsern hoch geliebten Führer Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten und sonstige aktiver Völkern und Rassenbewegungen sollen Schüler an Schüler an Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völkern.
Die Bewegung ist eine andere geworden, aber die Größe des hochgeliebten Führers ist heute noch nicht geringer als in der Vergangenheit.

Ein verurteiltes Gegenstand ist eben dabei, das Volkstum – gegen alle weißen Völkern (!) – zu hegen, sein Volk und seine Erbschaft, Überlieferung und Erinnerung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Straßenkampf, ob im Propagandakampf, bewacht oder auf einem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitl Hitler!
Gottfried Lueck


TROTZ VERBOT NICHT TOT!


N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したもので、すね。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningthecent.com/truth.html)に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の増大です。1つのことについて情報を集めても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、理も




the NEW ORDER
Number 176 (1347) Founded 1973 April 26, 2022 (123)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defamation have not sufficed to destroy the word of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware counterforces and racial kinmen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "legal" or "illegal", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind every National Socialist must do his duty!

Hitl Hitler!
Gottfried Lueck


TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

SS Defender against Bolshevism
by Reichsführer SS Heinrich Himmler

Translated from the SS Original

The Poisonous Mushroom
Julius Streicher, Reich Minister of Propaganda

Translated from the Third Reich Original
Der Giftpilz

Hitler in Italy
Rudolf Heßmann

English / German Deutsch / English

SS Viewpoint - Vol. 9
Wife and Family


The Sins of High Finance
Theodor Fritsch


Luftwaffe War Art
Die Luftwaffe im Bild

English - German / Deutsch - English

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org

Contact us to find out how YOU can help!